

## 大阪航空局事業評価監視委員会議事概要（平成29年12月19日）

### 1. 日時

平成29年12月19日（火） 15:00～17:00

### 2. 場所

国土交通省大阪航空局大阪空港事務所 会議室

### 3. 出席者

【委員】（50音順・敬称略）

委員長 稲垣 喬 弁護士 法学博士

委員 竹林 幹雄 神戸大学大学院 教授

委員 増田 達也 大阪工業大学 客員教授

【国土交通省大阪航空局】

生野保安部長、技術保安企画調整課 松本課長、渡邊調査官、古橋専門官

管制技術課 大口課長、平原専門官

### 4. 議題

（1）委員長選任

（2）久米島洋上航空路監視レーダー（ORSR）整備事業について

### 5. 議事概要

●委員長として稲垣委員が選任された。

●事務局より、「久米島洋上航空路監視レーダー（ORSR）整備事業 事後評価資料」について説明を行った。概要は以下の通り。

【事務局】

費用便益比（B/C）は、8.2となり、十分な効果が発現する。

費用対効果分析の感度分析においても、航空旅客数需要マイナス1%の状況でも十分な効果が発現する状況となっている。また、2020年の東京オリンピック及び政府の訪日旅客受け入れ施策もあり、今後も交通量の増加が見込まれる。したがって、今後も継続的に効果が発現されることが見込まれるため今後の事業評価の必要性はないものと想定される。

●その後質疑応答を行った。各委員からの意見は以下の通り。

【稲垣委員】

ORSRの整備目的である交通量の増加に十分対応していることが、説明により分かった。

【竹林委員、増田委員】

効果が発現していることは間違いない。

●最後に、委員会のまとめとして委員長から次の発言があった。

【稲垣委員】

本整備が、航空交通の増加・効率化に寄与する行政として事業化が実現されており、事後評価結果案を承認する。